

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」
平成28年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成29年1月20日(金)発行 第 39 号 発行責任者:高橋 弘悦

文部科学大臣表彰受賞

第10回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等表彰式

さる17日、東京国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に、平成28年度キャリア教育推進連携シンポジウムが開催され、席上キャリア教育優良学校として、本校が文部科学大臣表彰を受賞しました。

当シンポジウムは、経済産業省、文部科学省、厚生労働省の主権によるもので、賞は、表題のような教育関係団体の他、企業、諸団体の立場でキャリア教育の推進に先進的な取り組みをしている団体、個人に贈られるものです。

本校の受賞理由は次ページに示すものですが、過去3年間にわたって、生徒はもとより保護者、地域の方々のご協力で地道に活動した成果といえます。

本校の取り組みは、もとよりこのような賞をいただくことをめざして始めたものではなく、地域の抱える問題に中学生がどのように関わっていけるか、という問題意識からはじめたものです。

ある方から「防災教育でも先進的に取り組み、さらにキャリア教育でも文部科学大臣賞とはすごい」というお褒めのことばをいただきましたが、「庇護される存在から地域の担い手として」という観点からいえば、防災教育もキャリア教育も問題意識を一にするものです。

大きな賞をいただいたことのご報告と共に、これまでのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



国の賞状だけあって、透かしが入っています

<福島県> (種別：学校) 柳津町立西山中学校

推薦理由

西山中学校は全校生12名。柳津町東部の山間地域に位置し、地域は近年少子高齢化が著しく進行している。西山中学校では、取り組むべき課題として、この「過疎・高齢化」という大きな問題に目を向け、「アントレプレナーシップの育成」という切り口でその課題に応えようとしている。

「過疎の要因は若者が町から出て行くこと」「若者が町から出て行くのは仕事がないから…」「仕事がなかったらつくればいい」「では、この地で起業するには…」

この課題に対し、生徒たちは、発信するに足る地域の特色や魅力を積極的に掘り起こし、その上で、地域の魅力を紹介する「旅行パンフレットづくりプロジェクト」、地元の温泉施設で提供する「温泉たまごを活用した創作料理のメニュー化プロジェクト」、地域の風習をモチーフに工芸品を創作する「みやげ物の開発プロジェクト」、10年後、20年後の美しい景観を目指した「紅葉の小径プロジェクト」など、多くの実践に取り組んでいる。

「みやげ物の開発プロジェクト」では、地域の風習をモチーフにして現代風の「ストラップ」を創作し、その製作を地域のお年寄りにも依頼した。製品のやりとりを通して、お年寄りには孤立化防止、生徒には貴重な異年齢交流の場ともなった。また降雪期には、生徒が一人暮らしの老人宅の除雪作業を行うなど、ボランティア活動の場ともなっている。これらの運営は、生徒による模擬会社「西中ほのぼの夢工房」を通して行い、町の道の駅や旅館、店舗での販売を行っている。

模擬会社「西中ほのぼの夢工房」では、さらに、地域の特産品「桐」を用いた民芸品の開発・販売にも取り組んでいる。販売にあたっては、地域の旅館・店舗に販売を委託する他、地域の祭礼等において模擬店舗を出店し、販売活動を体験した。

消えつつあった地域の風習を掘り起こし、新たな民芸品を開発、また一連の活動を通して地域よさに気づき、地域の課題解決に真摯に向き合った生徒たち。地域に見守られる存在であった中学生が、地域に提言し、地域をも動かす存在となって活動している。

文部科学大臣表彰受賞

平成29年1月19日 福島民報

柳津町の西山中は
キャリア教育優良学校
として今年度の文部
科学大臣表彰を受賞し
た。

キャリア教育 文科大臣表彰

西山中(柳津)が受賞

同校の全校生は十二人。少子高齢化と過疎化が進行する西山地区の魅力づくりと活性化に取り組む起業家教育を実践している。これまでに地区の観光パンフレットの製作や地元民芸品「ひし」を生かした新たな土産品「ひしストラップ」をお年寄りとともに開発するなどの成果を上げている。

全国のキャリア教育の充実発展に尽力している学校や教育委員会、団体合わせて百一団体が選ばれた。本県では西山中といわき市教委が受賞した。